

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆花粉飛散量、今年は西日本で最多も 遠い「半減」目標

・今年の春はスギやヒノキの花粉が多く飛散すると予想される。東京都内は観測史上最も早い飛散を確認、2024年夏の暑さによって西日本は過去10年で最多の飛散量となる可能性もある。花粉症患者は年々増え、経済的な損失も大きい。国は53年度に発生量を半減させる目標だが、人工林の伐採が計画通りに進むかは見通せない。

◆高額療養費上げ、厚労省が一部修正へ 長期の治療に配慮

・厚生労働省が「高額療養費制度」の患者負担限度額の引き上げ案を一部修正する方針であることが分かった。同省幹部ががん患者団体などとの面会で明らかに。福岡資麿厚労相は患者団体と面会する。患者団体によると、直近12カ月以内に3回限度額に達した場合、4回目から限度額を下げる「多数回該当」という仕組みを修正する。

◆24年の経常黒字、最高の29兆2615億円 2年連続で拡大

・財務省が発表した2024年の国際収支統計(速報)によると、海外とのモノやサービス、投資の取引状況を示す経常収支は29兆2615億円の黒字だった。黒字幅は前年比で29.5%増と、2年連続で拡大した。比較可能な1985年以降で過去最大となった。貿易赤字が縮小し、投資収益や訪日客消費が押し上げ。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆都が「防災都市づくり基本方針」を改定 整備地域の見直しへ

・東京都は2026年度から2035年度までの10年間に実施する「防災都市づくり推進計画の基本方針」の改定案を公表。基本方針(1996年策定)の改定は2021年以来で、今回で4回目。能登半島地震および同地震で発生した大規模火災を踏まえ、大地震があっても「倒れない・燃えない・助かる」まちの形成を目指す。

◆国交省、女性活躍で新計画 まずは経営層の意識改革を

・国土交通省は建設産業における女性活躍・定着促進に向けた検討会を開き、実行計画案を公表。計画の基本的な考え方として、まずはトップである経営者層の意識を変えた上で、現場で働くすべての労働者の意識を変え、建設従事者にとって魅力的な産業にすることが必要であるとしている。

◆首都圏の物流施設空室率、2年半ぶり低下 再び上昇も

・不動産サービス大手シービーアールイーがまとめた2024年10～12月期の物流施設の空室率は、首都圏で前四半期に比べ0.3ポイント低い9.8%。前四半期を下回るのは22年4～6月期以来2年半ぶり。1都3県を中心に、延べ床面積が1万坪以上で複数の入居者を集めるマルチテナント型の大規模物流施設を対象に調査。

《 注目商品 》

■アイリスオーヤマ、スポットライトの新ブランド「MiOL(ミオル)」

・配光設計の異なる4種のレンズと明るさや色温度の異なる光源などを自由に組み合わせることで、用途に合わせて約1,500通りの照明演出ができるスポットライトの新ブランド「MiOL(ミオル)」を2025年5月中旬より発売。



■ウッドワン 国産材の豊かな表情「コンビットグレードJ」

・国産樹種突板の化粧単板の木目の美しさを際立たせ、国産材の豊かな表情を活かした突板フローリング。基材には国産針葉樹合板と国産材70%以上を配合したMDFを使用。資材の循環を図ることで、環境面にも配慮。



■ミラタップ システムキッチンシリーズ「プレティカ」

・無駄な要素を一切省いたミニマルデザインと、ステンレス素材を組み合わせたトレンド感あふれるカラー展開が特長の普及価格帯システムキッチン。天板は標準仕様の「ステンレスヘアライン仕上げ」と「バイブレーション仕上げ」「人工大理石ホワイト」から選択可能。

